

# 台灣ウイーク

## —台湾音像—

会期 2015年6月12日(金) — 6月17日(水)

台北駐日経済文化代表処「台湾文化センター」のオープンを記念し、  
同、多目的イベントスペースにおいて、以下のような多彩で魅力的な公演、展示を実施いたします。

12  
金曜日

御招待客のみのご参加

**開館式典** 無垢舞踏劇場「醮・獻香」  
采風樂坊

入場  
無料

以下が一般公開となります

13  
土曜日

14時10分 台原偶戲団「萬花筒」  
15時30分 采風樂坊  
17時00分 福爾摩沙淡水走唱団

14  
日曜日

14時00分 台原偶戲団「萬花筒」  
15時30分 福爾摩沙淡水走唱団  
17時00分 心心南管樂坊

15  
月曜日

14時00分 心心南管樂坊  
16時00分 トークライブ  
古い写真を通して台湾を知る  
—台湾の懐かしい風景と人々の生活 1930s～1970s—

16  
火曜日

14時00分 台湾映画上映会  
上映作品「orz ボーイズ」  
小学校の先生から「お前はうそつき1号、お前はうそつき2号」と不名誉なあだ名を付けられてしまったやんちゃな二人の男の子の物語。恵まれない環境の中、精一杯生きようとする少年たちの姿に元気をもらえる。

17  
水曜日

14時00分 台湾映画上映会  
上映作品「KANO 1931 海の向こうの甲子園」  
台湾の嘉義農林学校(KANO)の弱小野球部が、松山商業で監督を務めたこともある近藤兵太郎の指導のもと、1931年、甲子園初出場ながら準優勝するまでの実話を描いた映画。台湾、日本で異例の大ヒットを記録した感動作品。  
17時30分 台湾原住民、客家歌謡

### 無垢舞踏劇場

今、世界中から注目を集めているダンスカンパニーのひとつ。振付家、林麗珍が創りだすオリジナリティ溢れる作品からは、台湾における土着性の復権、民族性の回帰といった強い意思を感じる。林麗珍はART E(ヨーロッパテレビ協会)から「世界を代表する振付家8人」として、アジアからただ1人選出されている。



### 采風樂坊

台湾の伝統的な音楽を基に、現代的な音楽と融合させた作品で知られるアーティスト集団。国際的にも高い評価と知名度を得ている。絶えず異なる領域の芸術を学び、様々な文化を取り入れてレパートリーを拡大、進化しつづけており、台湾のグラミー賞と言われている金曲賞で最優秀伝統楽器楽団賞を獲得している。



### 心心南管樂坊

創設者でチーフディレクターの王心心が率いる南管の伝統楽器による楽団。南管とは中国福建省・泉州に生まれた弦楽器を主体とした優雅な室内楽のことである。今回は、特別に薩摩琵琶の岩佐鶴丈氏を招き、王心心の南管琵琶とのセッションをお聞きください。二つの異なる音色の琵琶の競演を存分にお楽しみ下さい。



### 台原偶戲団

ホウ・シャオシェン監督の映画『戯夢人生』に登場する主人公・李天祿師。その息子である陳錫煌師のもとに結集したのが人形劇団「台原偶戲団」。面白いことに、この劇団のディレクターはロビン・ラウゼンダールというオランダ人。伝統を重んじながらも現代的な演出にチャレンジする作品づくりで世界中から高い評価を得ている。



### 福爾摩沙淡水走唱団

作曲家、音楽プロデューサーとしても活躍する月琴詩人、陳明章率いる民謡楽団。陳明章は音楽プロデューサーとしても活躍、映画音楽など幅広い分野で実績を残している。陳明章作詞・作曲の「流浪到淡水」は日本のビール会社のCMにも使われ、広く親しまれている。今回は、日本の津軽三味線奏者、車谷建太氏とのコラボレーションも楽しみである。



### 台湾原住民、客家歌謡

民謡、草の根音楽及び文化議題に焦点をあて、客家、アミ族やタイヤル族で生まれた音楽のエッセンスを組み合わせ、現地の音色を再現。音楽人とその背景にある文化を重要視するグループ。何度も台湾金曲賞を受賞した実力派。台湾を代表してヨーロッパやアジア各地で演奏。世界に台湾音楽を広めたグループ。



写  
真  
展

### 古い写真を通して台湾を知る

—台湾の懐かしい風景と人々の生活 1930s～1970s—

開催期間：6月13日～8月12日



1940～1970年代の台湾写真を多数展示。当時のカメラマンが撮影した古い写真を通して、台湾の歴史文化に触れ合えます。  
また台湾の「国家文芸賞」と「行政院文化賞」受賞者の張照堂氏と日本の専門家を招いてのトークライブを6月15日に開催します。



台北駐日経済文化代表処 **台湾文化センター** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-12 虎ノ門ビル 2 階  
WEB : <http://jp.taiwan.culture.tw> TEL : 03-6206-6180 FAX : 03-6206-6190 Email : [moctkyo@gmail.com](mailto:moctkyo@gmail.com)